

ICT 活用による分野横断型実験授業のビデオ紹介

掲載 URL : <https://www.juce.jp/medforum/experiment/>

公益社団法人私立大学情報教育協会
医療系フォーラム型実験小委員会

本協会の医療系フォーラム型実験小委員会では、これまで6年間に亘り研究・実験してきた「ICTを活用した分野横断による多職種連携教育の実験」を整理し、授業運営及び導入に向けたノウハウをビデオ化してWeb上に公表しましたので、参考にさせていただきたくご案内します。

0. はじめに

ICT活用による分野横断型授業の研究と実験を6年間行った結果、新しい学びの成果が認められました。令和4年度改訂の医学教育モデル・コア・カリキュラムに多職種連携能力が取り上げられたことから、医療系の大学が多職種連携教育に取り組む一つの方法として参考にさせていただきたく、授業の概要を紹介しています。(2分13秒)

1. 授業準備

ICT活用による分野横断型授業の準備について、手順・方法・工夫を以下の項目に沿って紹介しています。(7分45秒)

- (1) 授業プログラムの決定
- (2) 課題(シナリオ)の作成
- (3) 授業設計と学生用ガイドの作成
- (4) ファシリテーター用ガイドの作成

2. 授業運営のポイントと工夫

ICT活用による多職種連携授業の目標、進め方を学生用ガイドに明示し、自己主導型学修、プロブレムマップ、ポートフォリオなどの事例を具体的に説明し、「なるほどこうやれば良いのか」と実感できるよう、以下の項目に沿って紹介しています。(4分45秒)

- (1) 役割分担と共同編集可能なグループプロダクト
- (2) プロブレムマップの活用
- (3) 評価(ルーブリック評価)について
- (4) 授業終了時の自己評価とフィードバック
- (5) 自己主導型学修を充実させるために
- (6) 学びを深めるためのリソース講義
- (7) ポートフォリオの活用

3. プラットフォームと ICT 学修システム

ICT を活用した遠隔授業のプラットフォーム、オンラインアプリケーション(Google スライド、Zoom ホワイトボード)などを活用した ICT 学修システムを具体的に紹介しています。

(5分8秒)

- (1) Google for education などのオンラインアプリケーションがあれば授業が可能
- (2) Google スライド・ドキュメントを使うことで、オンラインであってもグループディスカッションが可能
- (3) 同期型のネット授業は Zoom で実施し、非同期のネット授業は Line で実施
- (4) 学生用ガイドに、学修の進め方、プロダクト作成、提出物と提出期限などを詳細に記載
- (5) 上記のコンテンツを集約してオンライン授業を円滑に進める工夫

4. アイスブレイキングのポイント

ネット上で参加者の緊張をほぐし、授業の効果を高めるためのアイスブレイキングの工夫について、紹介しています。(6分26秒)

- (1) 学生同士が自分・相手を知るため短時間でできるプログラムの工夫
- (2) 学生の主体性を大切に、チームで授業を進める役割分担の工夫
- (3) 課題の考察、ビデオの事前視聴などやるべきことを全員が確認・共有
- (4) 誰も否定しない、尊重できる雰囲気をつくる工夫
- (5) 教員もチームをサポートすることを伝え、いつでも相談できる工夫

5. ファシリテーションの必要性と工夫

ICT を用いたファシリテーションで心掛けることを紹介し、ファシリテーションで苦労したこと、良かったことなどのノウハウを紹介しています。(10分00秒)

- (1) ファシリテーションの必要性
- (2) ファシリテーションの工夫とポイント
- (3) ファシリテーションで苦労したこと

6. 分野横断型多職種連携授業の成果と課題

分野横断型多職種連携授業の成果として、自分の役割と専門性を位置づけて複数の分野の多角的な視点から健康医療における問題を発見することができるなど、学部別に行っている大学の授業では得られないような成果を紹介しています。また、課題としては、連携する大学の確保が難しいこと、学修時間の調整が必要なことなど大学組織としての支援が望まれることを紹介しています。

(10分08秒)